

令和2年度 施政方針

昨年7月に市長に就任し、今年度は公約の推進に向け施策を本格的にスタートする年となります。

昨年度は、大型台風の上陸により、全国各地で甚大な被害が発生いたしました。この地方でも南海トラフ地震の発生が危惧されており、防災、減災のまちづくりを推進してまいります。

また、これまでに、振り込め詐欺などの特殊詐欺への対策や、自動車のアクセルとブレーキの踏み間違いによる高齢ドライバーの事故防止などに取り組んでまいりましたが、これからも市民の皆さまが安心して暮らしていけるよう施策を充実してまいります。

今年度、本市は市制施行70周年となりました。70年の節目を祝うキャッチフレーズを「あなたとともに70th(ななじゅうねん) つなげよう未来の刈谷へ」とし、さまざまな記念事業を実施してまいります。

昭和25年に人口30,868人でスタートした本市も、今では152,000人を超えるまでとなりました。このような発展を遂げることができたのも、過去から現在まで多くの皆さまのたゆみない努力があつてのことであり、これを継続し、未来につないでいくことが私たちの責務であると考えております。

本市では、これからのまちづくりの指針となる「第8次刈谷市総合計画」を策定中であります。全国的には少子高齢化や人口減少が進み、先を見通すことが難しい時代ではありますが、本市の礎を築いた先人たちの意思を受け継ぎ、新しい時代を切り拓く計画としてまいりたいと考えております。

市民の皆さまが「元気」で「笑顔」にあふれ、未来に「希望」を持てるよう、バランスよく施策を実施し、「日本一安心安全なまち刈谷」の実現に向け取り組んでまいります。

まちづくりのキーワード

「元気・笑顔・希望のまちづくり」

守ろう!安心安全と健康…安心して暮らせるまちづくり

育てよう!子どもと未来…未来に希望が持てるまちづくり

輝こう!暮らしと仕事…魅力と活力にあふれるまちづくり

刈谷市長
稲垣 武

